

社会福祉法人にじの会

2019年度事業報告及び決算報告

1. 2019年度の事業概況について

2019年度は法人設立18年目の年になります。改正社会福祉法に基づく法人組織運営を実施するとともに、以下のような法人及び施設運営の取組を行いました。

- ①地域貢献事業として三鷹市大沢地区の高齢者買物送迎支援を週3回実施する事業が3年目を迎え、東京都地域公益活動推進協議会の実践発表会で最優秀実践として特別賞を受賞いたしました。
- ②2019年度東京都女性活躍推進大賞で、にじの会の「働き続けやすい人事制度」が女性活躍に効果的と評価され医療福祉部門で優秀賞を受賞いたしました。
- ③2009年に設定した中期計画「2020年のにじの会のあり方」の実施状況と達成差異を明確にし、次の中期計画設定の基礎とするため、中期計画総括を経営会議で作成しました。
- ④前年度から取組んでいるICTプロジェクトを中心に、タブレット等を活用し自己表現ツール・自己選択ツールとして多くのアプリを使用した利用者支援の実践を進めました。1月の公開講座で実践発表も行いました。
- ⑤2年前から設置している人事制度プロジェクトを中心に、職員採用・能力向上・人事考課等の制度改善を進め、育休・介護休等の利用懇談会や各種交流会の開催等で協働意識の向上を進めています。

以上のような法人・施設の取組を進めておりましたが、2月末の新型コロナウイルス感染の拡大により、にじの会もその対策を最重点に施設運営を切り替えて、施設内感染防止に取り組んでおります。

2. 2019年度の決算について

にじの会の2019年度決算の概況は以下の通りです。

- ①事業活動収支は、通常の運営状況を示す経常増減差額が3225万円の黒字で昨年より199万円減少しています。支援事業報酬は3340万円増加しましたが就労売上は3月のコロナ休業の影響で250万円の減少となり、人件費等の費用増3145万円と寄付金の減175万円をカバーできず黒字減少となりました。
- ②資金収支は、通常運営の収支を示す事業活動資金収支が7112万円の黒字で、914万円の設備投資と722万円のアート償還金による施設整備等資金収支の赤字1637万円を控除し、5476万円の当期資金収支黒字となっています。
- ③2019年度末の財政状態は、総資産22億6707万円・負債2億2915万円・純資産20億3792万円で、昨年より1695万円純資産が増加しています。